

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、金沢市、かほく市、津幡町、内灘町	地域再生計画名	「交流と連携による歴史・文化の薫る賑わいの都市づくり」計画
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者	石川県農林水産部森林管理課森林資源育成GL 小島 秀博、金沢市道路建設課長 市村達也、かほく市都市建設課長 山森 幸平、津幡町都市建設課長 本多克則、内灘町 都市建設課長 上前浩和		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	金沢地域の主要観光地施設における観光入込客の増加	8,632千人/年	H21～25の平均	9,844千人/年	H29	11,079千人/年	9,844千人/年	H31	12,345千人/年	○	4	4	市道と林道を一体的に整備することで、主要観光地施設へのアクセス性が向上し、地域間の周遊性が高まったことで観光入り込み客数の増加につながり目標値を達成できた。
	指標2	間伐面積の向上	0ha	H26	7ha	H29	4ha	14ha	R1	14ha	○	4	4	林道整備による効果として未間伐地域へのアクセス改善が図られた結果、間伐面積の増となった。
	指標3	道路の狭隘区間の解消等・円滑化による交通事故の減少	2,306件	H25	2,242件	H29	1,739件	2,178件	H31	1,356件	○	/	/	アクセス道路や狭隘区間を中心に道路の整備を推進したことで交通の円滑化につながったと考えられ、交通事故の減少に寄与した。
	指標4	老朽化等により機能が低下した林道施設の保全対策	0路線	H26	7路線	H29	3路線	7路線	R1	7路線	○			機能が低下した林道施設の保全対策が図られた結果、林業関係車両の安全な通行及び森林整備の促進に寄与した。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(H29)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	68.1km	26.7km	41.6km	今回の整備により主要観光地施設へのアクセス路が整備されたこと及び狭隘区間を中心に整備を進めたことで地域間の周遊性の向上が図られ、目標の達成につながったと考えられる。未整備区間についても引き続き整備を進捗することでアクセス改善や安全確保を図る。
	林道整備事業（整備延長）	0.47km	0.47km	0.47km	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。引き続き整備された林道を使用して森林整備を行った。
	林道の保全対策（路線数）	7路線	3路線	7路線	機能が低下した林道施設の保全対策により林業用車両の通行の安全性が確保された結果、森林整備の促進が図られた。
その他の事業					
計画外で独自に実施した事業	金沢中央地区都市再生整備計画	金沢市の中心市街地において、歴史的建造物の再整備、公園の改修、無電柱化事業などを実施。			谷口吉郎・吉生記念金沢建築館、長土堀青少年交流センターの完成や、玉川公園改修、尾山神社参道の無電柱化、梅ノ橋等の橋梁照明整備による歴史的景観の向上施策を実施したことに伴い、中心市街地の魅力を高め、良質な歩行空間を創出した。H27の北陸新幹線開業とも相まって、交流人口の増加に繋がっている。
	金沢外環状道路海側幹線事業	金沢都市圏の交通円滑化を図る、地域高規格道路の整備事業。			金沢都市圏の交通円滑化を図る幹線道路であり、供用後には、能登・金沢・加賀を連結し、広域交流を促進することが期待されていることから、早期供用へ向けて、整備を進めている。
	「MISIAの森」プロジェクト	石川県森林公園内において、森の保全活動、生物多様性の保全の重要性を訴えるプロジェクト。			本州有数の規模を誇る石川県森林公園内において、平成23年5月から森の保全活動を通じて生物多様性の保全性を訴える「MISIAの森」プロジェクトにより、子供たち自身が未来を考えていきっかけとなるような「豊かな森」づくりを進めてきたが、引き続きプロジェクトを実施していきたい。
	津幡町農村定住	町内に住宅を新築・購入する人を対象に奨励金を交付。			豊かな自然環境を守り伝えるため、奨励金制度により、農山村における定住人口増大に取り組んでいる。計画期間において、住宅の新築・購入に対する奨励金交付を7件実施し、農山村における定住促進に向けた取り組みを進めた。
	ミルク王国ウチナダプロジェクト	地元産の生乳を活用したオリジナル商品の開発を推進。			ミルク王国ウチナダ認定販売店29店舗のうち23店舗において新商品の開発・改良に取り組み、販売促進を図っており、観光入込客数の増加に寄与している。
	「若者マイホーム取得奨励金」「新婚さん住まい応援事業」	市内に住宅を新築・購入する人を対象に奨励金を交付。			若者世帯の定住人口の増加とともに、かほく市の居住利便性と合わせて観光資源等についても周知が進んだことで、交流人口の増加につながったと考えている。

④評価方法	評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。
⑤事後評価の公表方法	各自治体のホームページに掲載
⑥計画全体の総合評価	市町道や林道の一体的な整備が着実に図られており、主要観光地施設へのアクセス性が向上し、あわせて観光地の魅力向上施策や地場産品を用いた商品開発・PRなどの施策を実施することで交流人口の拡大につながったと考えられる。さらに未間伐地域へのアクセス道が整備されたことにより、間伐面積が増加しており、林業振興に寄与している。
⑦今後の方針等	本計画では、市町道のアクセス改善や森林整備事業及び関連する事業を実施することにより、観光入込客の増加や、森林の間伐面積が向上した。引き続きさらなる交流人口の拡大や林業振興に努め、地域の活性化を図っていきたい。